2026年11月19日

各　位

会 社 名：ウインテスト株式会社
（コード：6721 東証スタンダード市場）
代表者名：代表取締役 姜　 輝
問合せ先：管理本部長 鎌田 文明
（ＴＥＬ：045-317-7888）

WeLion社製半固体リチウム電池を活用した蓄電システム事業への参入に関するお知らせ
～国内向け蓄電システムの開発・製造及び国内外への販売事業を推進～

当社は、このたび、次世代蓄電池技術として注目されるWeLion社が開発・製造する半固体リチウム電池（以下「半固体蓄電池」という。）の取り扱いを開始し、国内における蓄電システムの開発・製造及び国内外への販売事業に参入することといたしました。

これに伴い、WeLion社製品の日本総代理店であるＡホールディングス株式会社との間で、2026年11月11日付で半固体蓄電池の製造及び販売に関する取引基本契約（以下「本契約」という。）を締結いたしましたので、お知らせいたします。

本事業では、WeLion社製の半固体蓄電池セルを採用し、当社大阪事業所において、日本国内の顧客ニーズやJC-STAR等の要求仕様に対応した蓄電システムの開発及び製造体制の構築を進めてまいります。また、本契約に基づく蓄電システムの組立、検査及び出荷確認業務の受託に加え、所定の条件のもとで、当社が独自に開拓した国内外の顧客に対する直接販売にも取り組んでまいります。

当社は、本事業を既存の半導体検査装置事業に加わる新たな事業領域の一つと位置付け、WeLion社の蓄電池技術と当社が培ってきた製造・検査技術を組み合わせることで、国内市場の多様なニーズに対応した製品展開を推進してまいります。今後は、製造受託による収益機会の確保に加え、独自の製品開発及び販売活動を通じた販路拡大を図り、新たな収益基盤の確立を目指してまいります。

１．　本事業への参入の背景及び目的

近年、再生可能エネルギーの普及、電力供給の安定化、産業設備の省エネルギー化及び非常用電源の確保等を背景として、蓄電池システムの活用分野が広がっております。当社は、半導体検査装置事業を通じて培ってきた精密機器の組立、電気特性の検査、品質管理及び製造技術を活用し、既存事業との技術的な親和性が見込まれる新たな事業分野への展開を検討してまいりました。

こうした中、安全性の向上を追求したWeLion社製の半固体蓄電池セルに着目し、同セルを活用した蓄電システムの製造及び販売事業への参入を決定いたしました。本事業では、WeLion社の先進的な蓄電池技術と当社が培ってきた製造・検査技術を組み合わせ、日本市場の多様なニーズに対応した蓄電システムの開発・製造及び販売を推進してまいります。

これにより、新たな収益機会を創出するとともに、中長期的な事業基盤の多様化及び収益基盤の強化を図ってまいります。

２．契約の概要

本契約は、WeLion 社が開発・製造する半固体蓄電池セルを活用し、当社が蓄電システムの組立、検査及び出荷確認業務を受託するとともに、当社独自の顧客開拓による販売事業の展開を可能とする基本的な取引条件を定めたものです。

主な内容は以下のとおりです。

取扱製品	WeLion 製　半固体リチウム電池セル
契約締結日	2026 年 11 月 11 日
製造品目	半固体蓄電池セルを活用した蓄電システム及び関連製品
製造拠点	当社大阪事業所
受託及び開発製造内容	国内の法令・安全基準及び顧客の要求仕様に対応した蓄電システムの開発・組立・検査・出荷確認
取引条件	製品仕様、数量、価格、納期等については個別契約により決定

なお、本契約は今後の製造及び販売に関する基本的な取引条件を定めるものであり、具体的な製造数量及び取引金額等については、今後の個別契約において決定されます。

３．製造受託事業について

当社は、WeLion 社製の半固体蓄電池セル及び関連部材を活用し、大阪事業所において、日本国内の顧客ニーズや要求仕様に対応した蓄電システムの設計・開発、組立、検査及び出荷確認に取り組んでまいります。

製造にあたっては、当社が半導体検査装置事業を通じて培ってきた精密機器の組立技術、電気的な検査技術及び品質管理体制を活用し、製品の品質確保と製造効率の向上を図ってまいります。

また、製品の用途及び仕様に応じて必要となる安全対策、関係法令への適合並びに各種認証等については、関係企業と連携し、必要な要件を確認したうえで、製造・検査及び出荷体制を段階的に整備してまいります。

本事業の展開にあたっては、既存の製造設備及び技術者の有効活用を基本としつつ、必要な製造環境の整備を進め、安定した製造体制の構築を目指してまいります。

４．当社独自の販売事業への展開について

本事業の特徴は、WeLion 社製の半固体蓄電池セルを活用し、顧客ごとに異なる用途や要求仕様に応じたセミオーダーメイド型の蓄電システムを開発・製造し、協力企業との連携及び当社独自の営業活動を通じて販売できる点にあります。

本契約に基づき、当社は製造受託業務にとどまらず、関係企業との協議及び所定の取引条件のもと、自社で開拓した顧客に対する直接販売にも取り組んでまいります。これにより、顧客ニーズに応じた製品開発から製造・販売までを一体的に展開し、当社独自の付加価値を創出してまいります。

また、当社がこれまで半導体検査装置事業等で培ってきた国内外の顧客ネットワークや営業基盤を活用し、産業設備、電力関連設備、非常用電源及び各種蓄電用途等への市場展開を推進してまいります。今後は、製造受託による収益機会の確保に加え、セミオーダーメイド製品の開発・製造及び独自

の販売活動を通じ新たな顧客層を開拓し、製造と販売の両面から本事業の拡大を図ってまいります。

５．今後の事業展開について

当社は、本契約の締結を受け、大阪事業所における製造・検査体制の整備を進めるとともに、関係企業との連携のもと、具体的な製造仕様、数量、納期及び取引条件等について協議を進めてまいります。また、WeLion 社製の半固体蓄電池セルを活用し、国内外の顧客ニーズに対応した蓄電システムの開発・製造及び販売体制の構築を推進してまいります。

６．今後の見通し

本契約は、半固体蓄電池の製造及び販売に関する基本的な取引条件を定めたものであり、現時点において具体的な製造数量、販売数量及び取引金額等は確定しておりません。

本件による 2026 年 12 月期の連結業績への影響につきましては軽微であります。今後開示すべき変更などが発生した場合は別途お知らせいたします。

WeLion 社製半固体リチウム電池を活用した蓄電システム事業への参入に関するお知らせ半については、以下のプレスリリースからもお読みいただけます。

プレスリリース　←こちらをクリックしてください。

以上

APPENDIX

１．半固体蓄電池

一般的なリチウムイオン二次電池は、正極（＋）、負極（－）及び両極間でリチウムイオンを移動させる電解質などで構成されています。従来のリチウムイオン二次電池では主に液体の電解質（電解液）が使用されていますが、半固体蓄電池は、電解質の一部を固体材料に置き換えることで、液体成分の割合を低減した蓄電池です。

今回、当社が取り扱う WeLion 社製の半固体蓄電池は、メーカーの製品仕様によれば、電解質に占める固体成分の割合が 90%以上であることを特徴としています。

半固体蓄電池は、従来の液体電解質を用いたリチウムイオン二次電池と比較して、安全性やエネルギー密度、寿命などの性能向上が期待される次世代蓄電池技術の一つです。特に、液体電解質の使用量を低減することで、電解液の漏出や発火等のリスク低減が期待されており、電気自動車（EV）をはじめ、産業用蓄電設備、非常用電源など、幅広い分野での活用が注目されています。

２．WeLion 社（リンクをクリックできます）

WeLion（北京衛藍新能源科技 / Beijing WeLion New Energy Technology）は、半固体電池および全固体電池の研究開発・製造を専門とする中国の主要バッテリーメーカーです。2016年に中国科学院物理研究所のスピンオフ企業として北京で設立されました。

主な特徴

・半固体電池の商用化（NIOへの供給）：中国のEVメーカーNIO（蔚来汽車）のバッテリーサプライヤーとして世界的に注目を集めました。WeLionが開発した150kWhの半固体電池パック（エネルギー密度360Wh/kg）は、NIOのセダン「ET7」に搭載され、1回の充電で1,000km以上の航続距離を達成しています。

・次世代全固体電池の開発：硫化物系の全固体電池セルにおいて、実験室レベルで824Wh/kgのエネルギー密度を実証しており、今後は1,000Wh/kgの達成と、2027年頃の量産化（高級EV、ヒューマノイドロボット、産業用途向け）を目指しています。

・高い安全性とコア技術：独自の「原位置固化技術」や固体電解質技術を採用しており、従来の液体電解質リチウムイオン電池と比較して発火・熱暴走のリスクを大幅に低減しています。

完成品イメージ



住宅用蓄電システム



産業用蓄電池　キャビネット型



系統用蓄電池　コンテナ型

以上